

まちづくりの目標	3	みどりうるおう環境を大切にすまち		
政策	1	地球にやさしく美しい住みよいまちにします		
施策	2	循環型社会をつくるまちにします	担当部(統括部)	生活環境部

【実現している姿】

目標	地球温暖化対策として、資源化可能なごみがさらにリサイクルされ、ごみの脱焼却が進んでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	ごみの収集・処理の広域化・効率化が進んでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	市民、事業者、市が一体となった地球にやさしい取組みが進み、ごみがより減量されています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
リサイクル率	目標	—	—	16.8%	17.4%	18.0%	18.6%	19.3% (事業所含む)	19.90%	20.00%	25.0%
	実績	16.2%	16.2% (事業所含む)	15.6%	15.6%	15.5%					
ごみの年間焼却量	目標	—	—	25,230t	25,096t	24,962t	24,169t	24,140t	24,060t	23,981t	21,126 t
	実績	25,491t	25,365t	24,714t	24,528t	24,179t					
市民1人あたりの1日のごみ量	目標	—	—	1,048g	1,044g	1,040g	1,020g	1,000g	915g	904g	724g
	実績	943g	1,052g (H22以降集団 回収資源含 む)	1,042g	1,036g	1,021g					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎ごみゼロ施策の推進						
できるだけごみを出さずに再使用する意識を高め、実践されるよう、市民、事業者、市の協働による取組みを進めます。また、地球温暖化の原因となる焼却処理を減らすため、ごみゼロをめざした資源のリサイクルをさらに推進します。						
平成27年度事業 ◇ごみ減量啓発事業1,785千円・◇ごみ減量対策事業27,720千円(環境業務課・環境センター)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	プラスチック製容器包装の分別収集について市民、事業者を交えて審議	平成26年10月より、食品トレイ分別収集の全市実施に取り組む	26年度から全市実施する食品トレイ分別収集の排出状況を検証する	前年度の検証結果を見ながら、分別の徹底を図れるよう啓発指導を行う	食品トレイの排出状況の検証及び啓発指導に取り組む	プラスチック製容器包装ごみ資源化の評価
取組実績	食品トレイのモデル地域拡大に向けて、協力自治会等への説明会を実施した。					
成果	食品トレイのモデル地域を拡大し、本格実施に向け収集方法の検討・改善を行うことができた。					
次年度課題	食品トレイ収集の本格実施に向けた収集体制の整備や市民啓発方法について検討する必要がある。					

◎事業系ごみの適正処理とリサイクルの推進						
事業活動に伴うごみの処理や減量、リサイクルについて、事業者への啓発・指導を強化します。また、事業者の環境配慮行動がさらに促進されるよう、エコアクション21などの環境マネジメントシステムの認証取得を支援します。						
平成27年度事業	◇ごみ減量啓発事業1,785千円(環境業務課・環境センター) ◇エコアクション21認証取得助成事業400千円(環境業務課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市内事業所に適正処理の啓発指導	市内事業所に適正処理の啓発指導	事業系ごみの適正処理の啓発指導方法の評価	前年度の評価を踏まえての事業系ごみの啓発指導	事業系ごみの適正処理の啓発指導	事業系ごみの適正処理の啓発指導方法の評価
取組実績	事業系ごみの大口排出事業者に対して減量計画書を提出いただいた。					
成果	事業系ごみの分別・減量意識が高まった。					
次年度課題	排出業者のごみ分別・減量への啓発を行う。					
計画	他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援	他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援	事業者の環境配慮行動促進状況の評価	前年度の評価を踏まえてのエコアクション21取得支援の見直し	他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援	事業者の環境配慮行動促進状況の評価
取組実績	エコアクション21の取得事業者に対する入札参加時の評価点加算制度を導入した。					
成果	申請のあった市内企業に対して、エコアクション21の取得費用助成を2件実施した。					
次年度課題	エコアクション21取得推進のため、業者に対するメリットの周知が必要である。					

◎効率的で安定した収集・処理システムの構築						
リサイクルと適正処理に向け、収集システムの確立や収集の効率化をめざした取組みを進めます。また、ごみ、資源の収集、中間処理、最終処分が将来にわたり、また災害時などにも強く安定的な収集処理システムを構築する取組みを進めます。						
平成27年度事業	◇ごみ処理施設維持管理事業551,297千円(環境センター) ◇リサイクルプラザ整備事業46,132千円・◇ごみ収集処理事業384,000千円(環境業務課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第4期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	一般廃棄物処理基本計画の進捗管理	一般廃棄物処理基本計画の進捗管理	一般廃棄物処理基本計画の見直し	中間見直しを踏まえての一般廃棄物処理基本計画の進捗管理	中間見直しを踏まえての一般廃棄物処理基本計画の進捗管理	
取組実績	食品トレイのモデル収集地域を拡大し、26年度からの本格実施に向けて準備を進めた。					
成果	資源可能なごみのリサイクル率が向上し、不燃ごみの減量に繋がった。					
次年度課題	食品トレイ収集の全市実施に向けた市民周知の徹底を図る。					
計画	リサイクルプラザ基本計画を策定	基本計画に基づき発注仕様書を作成	リサイクルプラザ再整備に向け、食品トレイの分別状況を検証	前年度の食品トレイの分別状況の検証結果を見ながら、プラスチック製容器包装分別の検討	リサイクルプラザ再整備に向け、プラスチック製容器包装分別の検討	収集処理システムの評価
取組実績	廃プラ処理施設整備基本計画・基本設計を作成した。					
成果	基本計画・基本設計を作成することで、平成26年度の発注支援業務へと進むことが出来た。					
次年度課題	廃プラ処理施設の性能発注の実施時期を精査する必要がある。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

多様な収集方法や収集活動						
安否確認を兼ねた高齢者などに対するふれあい収集や、ごみ出しの利便性向上と分別収集推進のための戸別収集、収集作業中に子どもを見守るパトロールなどを実施します。						
平成27年度事業	◇ごみ収集処理事業384,000千円(環境業務課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る
取組実績	17名のごみ収集職員が救命救急講習を受講した。					
成果	緊急時の対応方法を習得し、職員の資質向上につながった。					
次年度課題	高齢者人口の増加により、ふれあい収集件数が増えると予想されるため、収集体制の検討が必要である。					
計画	プラスチック製容器包装の分別実施に向けた収集体制の検討	食品トレイの全市収集に対応した収集体制へ移行	リサイクルプラザ再整備に向け、食品トレイに対応した収集体制の検証	リサイクルプラザ再整備に向け、プラスチック製容器包装収集体制の検討	リサイクルプラザ再整備に向け、プラスチック製容器包装収集体制の検討	分別収集体制の評価
取組実績	食品トレイのモデル収集地域を拡大した。					
成果	資源可能なごみのリサイクル率が向上し、不燃ごみの減量につながった。					
次年度課題	食品トレイ全市実施に向けた市民への周知徹底が必要である。					

地域やNPOと連携したごみ減量施策の推進						
小学校区ごとに、自治会、廃棄物減量等推進員と連携し、協働で不法投棄など地域のごみ問題の解決に取り組みます。						
平成27年度事業	◇ごみ減量対策事業27,720千円(環境業務課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	地域でのイベント等に参加することにより、日頃から地域との連携を強化	地域でのイベント等を支援することにより、日頃から地域との連携を強化	地域のごみ問題解決のため地域との連携を強化	地域のごみ問題解決のための地域との連携を強化	地域のごみ問題解決のための地域との連携を強化	地域のごみ問題解決のため地域との連携を強化
取組実績	市内10小学校区で廃棄物減量等推進委員との地域懇談会を実施した。					
成果	市民との協働によるごみ問題解決に向けた取組みを実施することができた。					
次年度課題	「市民公益活動支援のガイドライン」に沿った協働の取り組みが必要となる。					

エコアクション21の認証取得と普及						
平成21年(2009年)3月に環境センター、ストックヤード両施設で取得しており、地域事業者への普及を目的とした摂津スクールを実施します。						
平成27年度事業	◇エコアクション21認証取得助成事業400千円(環境業務課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	エコアクション21を市内事業者へ推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し	エコアクション21を市内事業者へ推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し	市内事業者におけるエコアクション21の普及	市内事業者におけるエコアクション21の普及	市内事業者におけるエコアクション21の普及	市内事業者におけるエコアクション21の普及
取組実績	エコアクション21取得業者に対する入札参加時の評価点の加算制度を実施した。					
成果	申請のあった市内企業に対して、エコアクション21の取得費用助成を2件実施することにつながった。					
次年度課題	エコアクション21取得後の業者へのメリットを検討する必要がある。					

地域や市のイベントと連携した環境教育の推進						
地域のまつりやPTA行事、市のイベントなどに参加し、分別ゲームやパッカー車の体験乗車などを通じて、子どもたちに環境問題やリサイクルについて理解を求める取組みを実施します。						
平成27年度事業	◇ごみ減量啓発事業1,785千円(環境業務課・環境センター)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントを支援し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントを支援し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントを支援し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントを支援し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントを支援し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明
取組実績	各イベントにおいてリユース食器の利用やごみ分別について周知を行った。					
成果	イベントでのリユース食器の利用促進及びごみの分別・減量につながった。					
次年度課題	イベントの企画者が主体となってごみの分別を指導する必要がある。					